

外国語活動学習指導案

指導者 呉市立川尻小学校
HRT 門倉 りえ
ALT Tyler Barrett

1 学年 第6学年2組 計33名

2 単元名 届けよう みんなのドリームプロジェクト 英語ノート2 Lesson9

3 単元について

○ 本単元は、世界には、自分たちと同じように将来に夢を描いている子どもたちがいることを知り、さまざまな職業の言い方に慣れるとともに積極的に自分の将来の夢を紹介したり、友達の夢を聞き取ったりすることがねらいである。What do you want to be? I want to be ～. というやりとりで親しむだけでなく、学校の先生や世界の子どもたちの夢に出会ったり、自分の夢を考えたりすることを通して、自分の大切な物や自分自身を知ることにつながる単元である。また、子どもたちが夢をお互いに伝え合う動機付けとして、単元の終わりに、様々な教育機関が募集している企画に応募し、児童それぞれの夢を発信する活動を取り入れる。

○ 本学級の児童は、外国語活動に対して興味・関心を持ち、日本語とは違う言語にふれることを楽しみにしている。将来の職業については、キャリア教育ともかかわり、少しずつ自分の将来について、考え始めたところである。

児童は、ALT とコミュニケーションを図ることを楽しみにしており、授業が始まる前や後にも積極的に話をしている。その一方で、ジェスチャーをつけて歌を歌うことや、人前で英語を話すことに抵抗を感じている児童もあり、限られた友達同士でないと話せないような状況が見られる。特に自由なグループ活動になると、グループが固定しており、学級の中でも人間関係が広がりにくい場面も見られる。

チャンツなどで基本的な表現に慣れる活動においては、1回で表現に慣れてしまう児童から、先生の発音の真似をしたくても、どのようにすればよいか分からない児童までと個人差が大きい。英語ノートの Let's Listen などでは、CD の発音が聞き取れなかったり、ペアトークなどでどのように答えていいか分からなかったりして、苦手意識を持っている児童もいる。

○ 指導にあたっては、児童の実態をふまえ、授業に三つの工夫を取り入れ改善を図りたい。

一つ目は、児童が、積極的にコミュニケーションを図りにくい現状を受け、単元の活動の中にジグソー活動を取り入れたい。児童一人一人が持つ部分的な情報を集め、協同して全体の情報を完成させるジグソー活動を取り入れることにより、活動の中に「児童が相手の思いを理解したい、自分の思いを伝えたいという必然性」や「友達とのかかわり」を持たせ、今まで同じ学級にいても話すことのなかった友達とかかわり、情報を完成させていく中で友達とのかかわりが深められるようにしたい。

二つ目は、苦手意識を持っている児童への支援である。児童が活動について理解しやすいように HRT や ALT が児童のよきモデルとなり、説明を分かりやすく行い、児童が安心して取り組めるような雰囲気をつくりたい。また、ティーム・ティーチングを生かし、児童の様子や状況から支援を行い、CD を使う場面でも、ALT にゆっくり話してもらうなど工夫したい。特に第4時での、自分の夢を紹介する場面では、自分の将来の夢がはっきり決まっていない児童もいるので、一人一人の将来の夢をきちんと

と把握し、自信をもって話せるようなメモづくりの準備をさせたい。

三つ目は、自分の将来について深く考えられるような工夫を取り入れることである。まずは、図書を利用し、夢を持つことに年は関係ないことや、身近な小学校の先生方も夢を持って過ごしていることを知らせる。その後、世界各国の子どもたちの夢を知り、改めて日本という国や、自分の将来について考えられるようにしたい。単元を通して、夢を決めることが大切なのではなく、多くの人の夢に出会う中で、自分を見つめ、自分の可能性を信じていることができるようにしたい。

4 単元の目標

- ・様々ななりたい職業、夢があることを知る。
- ・積極的に自分の夢について、理由を含めて紹介したり、友達の夢を聞き取ったりする。
- ・将来の夢について尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。

5 単元評価規準

【コミュニケーションのへの関心・意欲・態度】

- ・将来の夢を伝え合う場面で、相手に分かるように夢を尋ねたり、応えたりしようとしている。

【外国語への慣れ親しみ】

- ・職業を英語で言っている。
- ・将来の夢を尋ねたり、答えたりしている。

【言語や文化に対する気付き】

- ・世界の子どもたちは、地域の様々な事情により夢を持っていることに気付いている。

6 単元の計画

	目標・活動	評価			
		コ	慣	気	評価規準 評価方法
1	なりたい職業の表現に慣れ親しむ。 ・ Let's Listen 『1歳から100歳までの夢』の紙芝居を聞く。 ・ Let's Play クイズ ・ Let's Play ビンゴゲーム ・ Activity 同じ職業のなかまを探せ		○ ◎		・ 職業を英語で言っている。 ・ 職業を英語で言っている。 行動観察 行動観察・ふり返りシート点検
2	学校の先生方の将来の夢について、尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・ Let's Chant ♪When I Grow up ♪ ・ Let's Play 職業当てクイズ ・ Let's Play 職業カルタ ・ Activity ○○小学校の先生たちの夢年表		○ ◎		・ 将来の夢を尋ねたり、答えたりしている。 ・ 将来の夢を尋ねたり、答えたりしている。 行動観察 行動観察・ふり返りシート点検

3 本 時	<p>世界の子どもたちは、地域の様々な事情により夢を持っていることに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Listen (英語ノート p.58) 夢を聞く ・ Let's Chant ♪When I Grow up ♪ ・ Activity ほかの国の6年生の将来何になりたいの？ 	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の夢を尋ねたり、答えたりしている。 ・ 世界の子どもたちは、地域の様々な事情により夢を持っていることに気付いている。 	<p>行動観察・ふり返りシート点検 ふり返りシート点検</p>
4	<p>将来の夢を紹介し合う場面で、分かりやすく夢を尋ねたり、応えたりしようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Chant ♪When I Grow up ♪ ・ Activity みんなの夢を知ろう 	◎		<ul style="list-style-type: none"> ・ ジェスチャーや絵で示しながら、尋ねたり応えたりしている。 	<p>行動観察・ふり返りシート点検・ドリームカード点検</p>
5	<p>将来の夢の紹介を通して、相手意識を持って分かりやすく対話しようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Activity 発信しよう、みんなのドリームプロジェクト 	◎		<ul style="list-style-type: none"> ・ ジェスチャーや絵で示したり、伝えたいことを強調したりしながら、尋ねたり応えたりして対話している。 	<p>行動観察・ふり返りシート点検・ビデオ点検</p>

7 本時の目標

世界の子どもたちは、地域の様々な事情により夢を持っていることに気付く。

8 本時の展開

過程	児童の活動	学級担任の活動	ALT の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導上の留意点 ◎ 評価規準<評価方法>【観点】 ◆ 国際理解の視点
挨拶 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶をする。 <p>Hello. (I'm) good/ fine/sleepy/hungry.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体に挨拶をした後、数名の児童と挨拶をする。 <p>Hello. How are you?</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ これから授業が始まることを意識させるように、指導者は元気づく挨拶をする
導入 (5)	<p>【Let's Listen】</p> <p>英語ノート p.58 の3人の夢について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語ノート58ページを開くように指示し、3人の夢を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3人それぞれの夢を英語を児童に聞かせる。 ・ 分かりにくい単語には説明を加える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が分かりにくい場合には、何度か繰り返して十分に聞かせるようにする。
導入 (7)	<p>【Let's Chant】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職業あてクイズ 	<p>♪When I Grow up ♪</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職業あてクイズをする。 クイズは、チャンツのリズムに合わせて行う。 ・ 前時の表現を確認する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 実態によりクイズの回数を増やす。

<p>展開 (25)</p> <p>展開</p>	<p>・めあてをたてる。 【Activity】 ・「他の国の6年生は将来何になりたいの？」</p> <p>・自分のなりきった国の子どもをみんなに紹介する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>世界の友だちの将来の夢を知ろう。 ～ 世界の国々の6年生編 ～</p> </div> <p>・児童一人一人に国旗・人物・道具の写真カードを配り、右下に貼ってある職業の絵を覚えるように指示する。決められた時間内に、その職業の人になりきって同じ職業の仲間を探す。3人集まると、国旗・人物・理由のカードがそろい、その国の6年生になりたい職業が分かる。 (配るカード ○種類)</p> <p>・チャンツで慣れた表現を使って世界の6年生の夢を完成させる。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">国 旗</td> <td style="text-align: right;">☆</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">人物</td> <td style="text-align: center;">理由</td> <td style="text-align: right;">☆</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">☆が共通の職業の絵</p> <p>やりとりの例</p> <p>A: Hello. B: Hello. A: What do you want to be? B: I want to be ~ . What do you want to be? A: I want to be ~ . A, B: Match! / Not match. B: Thank you. A: Thank you.</p> <p>・3人でカードは完成し、将来の夢を3人で分かる。国が変わると将来の夢もさまざまあり、自分と同じ夢であっても、理由がさまざまあることに気づく。</p>	国 旗		☆	人物	理由	☆	<p>・やり取りのデモンストラーションをALTと行い、活動のやり方を説明する。 ◎将来の夢を尋ねたり、答えたりしている。 <行動観察・ふり返しシート点検> 【慣】 ◎世界の子どもたちは、地域のような事情により夢を持っていることに気付く。 <ふり返しシート点検> 【気】</p> <p>◆世界の子どもたちもそれぞれの夢や願いを持っていることや同じ夢でも理由が違うことなどを知る。</p> <p>・第4時で使用するドリームカードの一部を、休み時間や家庭で作成しておくよう伝える。</p>
国 旗		☆							
人物	理由	☆							
<p>振り 返 り (5)</p>	<p>・本時のふり返しをする。 ・挨拶をする。 Good-bye. See you.</p>	<p>・主に英語を使おうとする態度面について評価する。 ・挨拶をする。 Good-bye. See you.</p>	<p>・主に英語を聞いたり、話したりすることについて評価する。 ・挨拶をする。 Good-bye. See you.</p> <p>・児童の態度や英語面についてよかったところを具体的にあげること、児童に次時への意欲を高めるようにする。</p>						